

## 基本課題Ⅰ 人権（女性の人権及び性を尊重する）

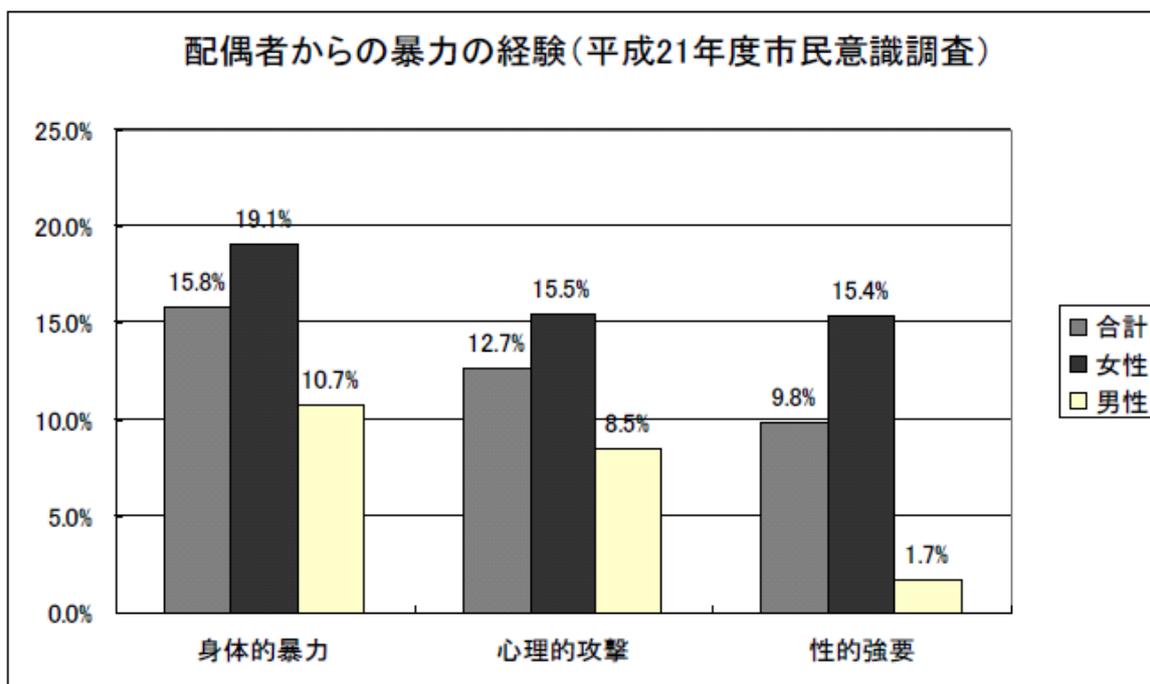
### 目標1 男女の人権を尊重するための環境づくり

人権尊重の環境づくりのために、次の施策に取り組みました。

- (1) 女性に対するあらゆる暴力の排除
- (2) メディアにおける女性の人権の尊重
- (3) 国際社会における男女平等の推進
- (4) 人権の尊重と心の健康支援

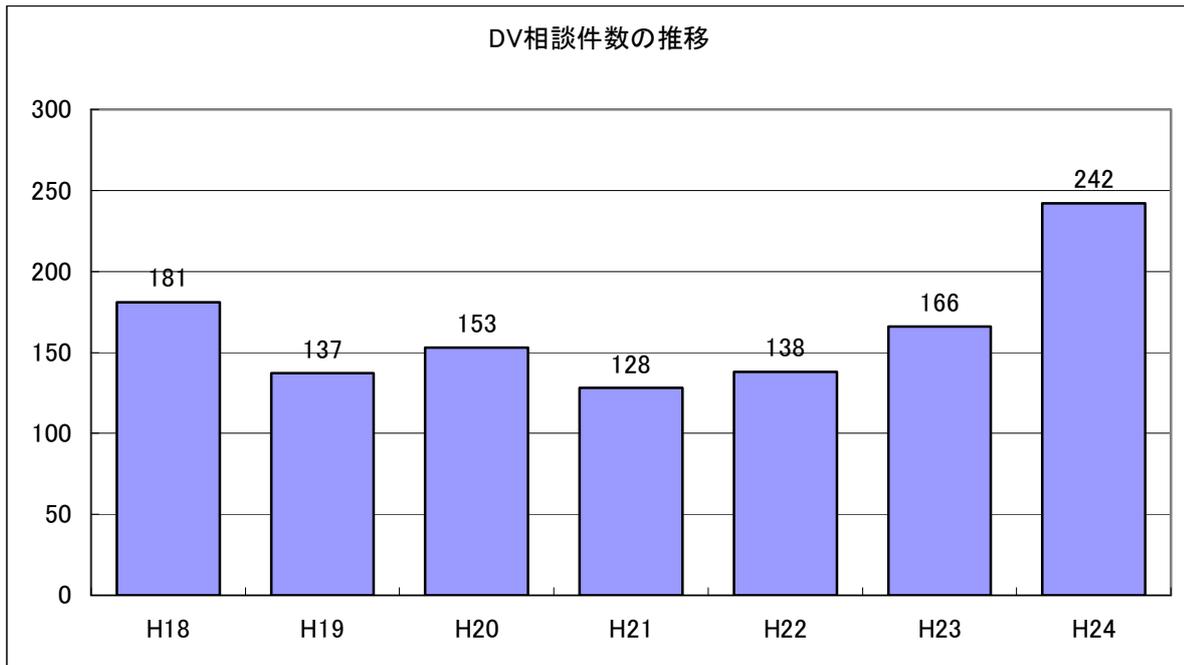
#### 状況

女性男性とも、配偶者からの暴力の経験がある人がいることがわかっています。

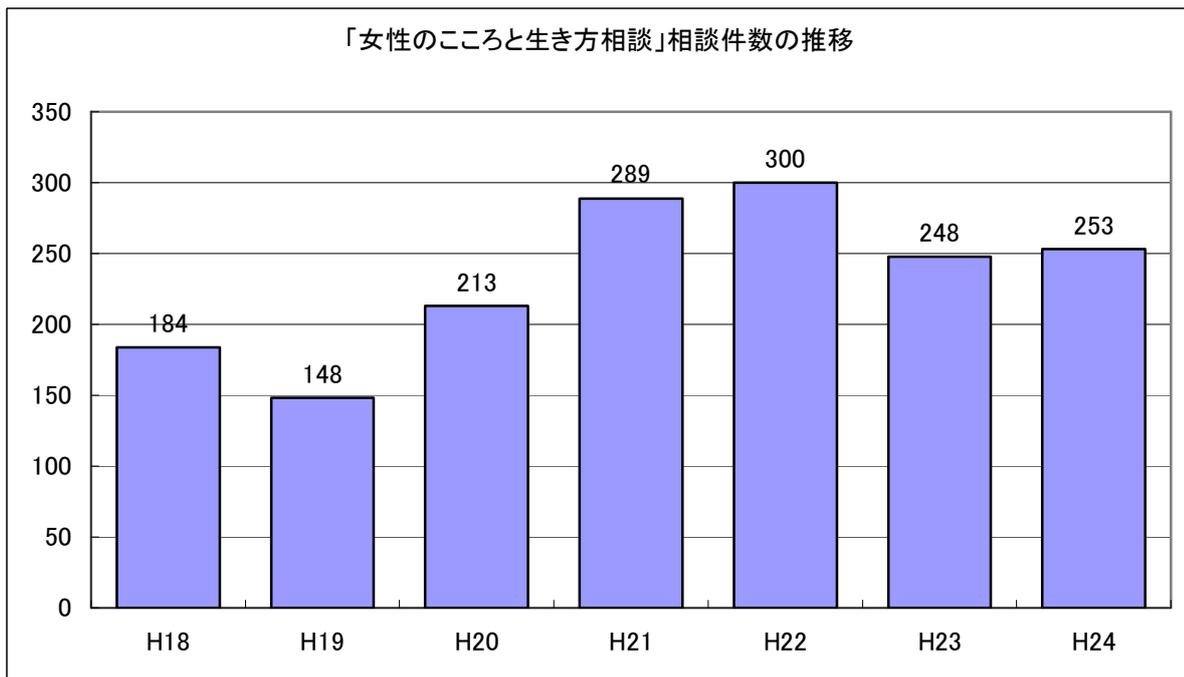


男女共同参画に関する市民意識調査  
調査対象：柏市在住の20歳以上の男女  
標本数：4,000人  
調査方法：郵送による調査

柏市においても、DV被害について相談がよせられています。



女性のこころと生き方相談は、生き方、夫婦、家族、健康など、女性がさまざまな悩みを抱えている状況が伺えます。



## 特に取り組んだこと

### 1 デートDV防止啓発パンフレットを作成し、中学生に配布しました

異性との交際を意識し始める時期の子どもたちに対して、すてきな関係を作ってもらうため、デートDV防止啓発パンフレットを 3500 部作成し、市内の中学2年生に配布しました。

庁内連携



イラストや漫画でわかりやすく説明

ステキな関係を築いてもらうために

### ◇「女性に対する暴力をなくす運動」企画図書展示（平成 24 年 11 月 6 日～25 日）

図書館本館ロビーで、女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、DV・デートDVに関する本の展示を行いました。シャープペンシル&しおり付きの相談に関するリーフレットを設置しました。

庁内連携



企画図書展示の様子



リーフレットはそっと渡せるよう小さなサイズに

## 推進状況

### 配偶者からの暴力が人権侵害であると認識する人の割合

	平成 24 年度		平成 27 年度目標
身体的暴力	<u>92.4%</u>	⇒	<u>100%</u>
言葉の暴力	<u>88.1%</u>	⇒	<u>100%</u>

※平成 24 年度は当時の直近の市民意識調査結果（H21）の数値です。

### 配偶者等からの暴力に関する相談件数

平成 24 年度		平成 27 年度目標
<u>242人</u>	⇒	<u>推移を確認していきます</u>

## 2 全市立小中学校の先生を対象に研修を実施しました

教職員対象の指導課主催の人権尊重教育研修会『学校における人権教育と男女平等教育』を開催しました（各校 1 名以上参加）。柏市の施策・教育委員会や学校現場での取り組みを紹介し、女性に対する暴力を許さない社会づくりを含め、今後も継続して取り組むよう啓発を行いました。

庁内連携

## 3 在住外国人のための外国語による支援を行いました

### ◇外国人アドバイザー相談

外国人アドバイザーが、在住・在勤・在学の外国人の日常生活や市政に関する相談を行いました。現在、日本語だけでなく、英語、中国語、スペイン語、韓国・朝鮮語で対応しています。

協働推進課

## ◇外国人に向けた多言語メール配信

柏市で生活する外国人に向け、緊急情報や市政情報を英語、中国語、スペイン語、やさしい日本語で配信しました。

協働推進課

## 4 男女共同参画シンポジウム分科会でDVについての講座を開催しました

### ◇12月分科会 講座「女性のためのスタディ&トーク」(平成24年12月9日)

全国女性相談研究会の女性相談員を講師に迎え、自らの被害体験を基に、DVはどんな行動なのか、DVを受けた女性の心理や傷つきについて、加害男性とはどんな考えを持ち、態度や行動に現すのかなどをつぶさに学びました(参加者33人)。

## 5 関係課と連携して自殺予防対策に取り組みました

### ◇相談窓口の案内や啓発講座などの自殺予防対策事業

悩み別に相談窓口を紹介したチラシを作成し、各関係機関から配布しました。

また、「心の健康講座」などの啓発講座や、無料電話相談・無料対面相談窓口を開設しました。

### ◇自殺予防対策フォーラム2012を開催しました(平成24年9月9日)

日本では交通事故の約6倍もの方が自ら命を絶っています。柏市でも、毎年80人前後の市民の方が亡くなっています。今の社会に生きる私たちの共通課題として、一人ひとりに何ができるのかを考える機会として、基調講演とパネルディスカッションを行いました。

(アミュゼ柏 参加者213人)



タレントの北野誠さんによる基調講演

### ◇自殺予防ゲートキーパー養成研修を行いました

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげることができるゲートキーパーを養成する連続6回の研修を計2回行いました。(千葉大学 参加者72人)

#### (その他)

- ・相談窓口案内チラシの配布
- ・予防啓発のための駅前キャンペーン（9月、3月）
- ・無料電話相談（199件）・無料カウンセリング相談（223件）
- ・自死遺族支援事業 わかちあいの会ひだまり
- ・いのちと暮らしの相談ナビ
- ・柏市自殺対策推進条例（平成23年6月27日公布・施行 平成27年3月31日まで）

で)

- ・自殺予防対策連絡会議設置（保健福祉総務課、保健予防課）
- ・自殺予防のための出前講座（2回 参加者37名）（保健予防課）

#### ■柏市オフィシャルウェブサイト 自殺予防対策に関するページ

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061600/p007585.html>

### 主な取り組み

#### (相談)

- ・女性のこころと生き方相談（男女共同参画室）
- ・母子自立支援相談（児童育成課）
- ・人権身の上相談（秘書広報課）
- ・法律相談（秘書広報課）
- ・市民相談（秘書広報課）
- ・職員向けにセクシュアル・ハラスメントに関する相談・苦情窓口（人事課）
- ・精神福祉相談（保健予防課）
- ・英語、中国語、スペイン語、朝鮮/韓国語による外国人相談（協働推進課）
- ・自殺対策として無料の電話相談、面談相談窓口を開設（保健福祉総務課）

#### (DV対策)

- ・DV関係課ネットワーク会議（男女共同参画室）
- ・母子緊急一時避難、相談支援（児童育成課）
- ・高齢者緊急一時避難保護を実施（福祉活動推進課）
- ・緊急一時避難相談対応（男女共同参画室）

#### (その他)

- ・女性、男性双方に配慮した表現の広報、出版物、ホームページ作成（秘書広報課）

### 今後の取り組み

- ・母子自立支援プログラム策定等事業の継続（児童育成課）
- ・就業支援講習会等事業の充実（児童育成課）
- ・自殺予防対策フォーラム開催（保健福祉総務課）
- ・自殺予防ゲートキーパー養成講座（保健福祉総務課）

## 目標2 女性の生涯を通じた健康支援

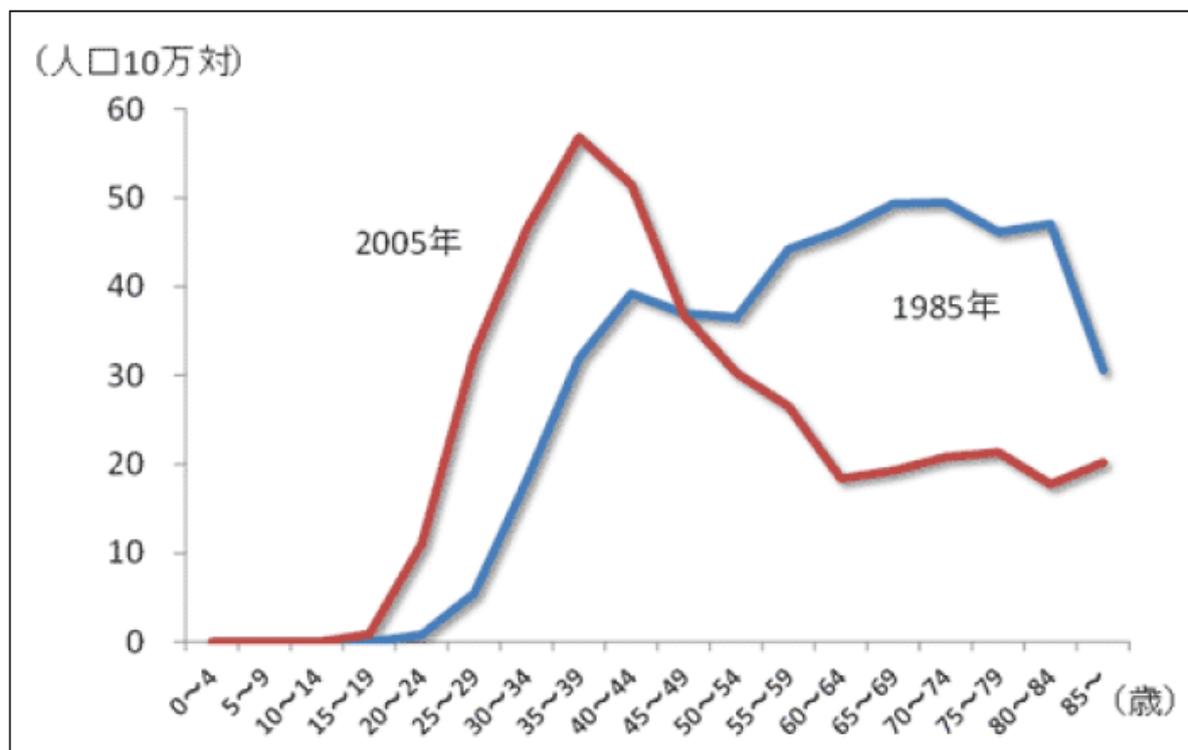
性に対する理解を進めるために、次の施策に取り組みました。

- (1) 性と生殖の健康・権利の理解と普及
- (2) 女性の健康保持と増進

### 状況

女性も男性も健康に自分らしく過ごせるように、男女の身体的性差を理解しながら健康づくりを目指しています。女性特有の病気の1つの子宮頸がんは、20歳、30歳代でかかる方が増えており、がん検診を呼びかけていく必要があります。

### 子宮頸がん（上皮内がんを含む）発生率の推移



国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」より

## 特に取り組んだこと

### 1 乳がん予防のための「マンモグラフィサンデー」を実施しました

#### ◇マンモグラフィサンデー（平成 24 年 10 月 21 日）

乳がん予防月間に柏駅前で、乳がんに関する正しい知識の普及や早期発見のためにマンモグラフィ検診を受けることの重要性を呼びかけました。リーフレット等の配布、自己触診モデルの展示、医師や保健師によるアドバイスなどを実施しました。**成人健診課**



保健師が乳がん検診をご案内



### 2 女性のための各種健康診査を実施しました

#### ◇乳がん検診、子宮がん検診、女性の基本 35 を実施しました

女性の健康支援として、がん検診と出産・子育て期の健康状態の確認のための検診（乳がん検診、子宮がん検診、女性の健康診査（「女性の基本 35」））を行いました。

**成人健診課**

### 3 がん検診時等に保育を実施しました

#### ◇乳がん・子宮がん検診時、がん予防講座に保育を実施しました

子育て中の女性の健康支援の一環として、乳がん検診（14回）子宮がん検診（3回）がん予防講座（1回）時に保育を実施しました。

**男女共同参画室**

## 推進状況

### 「女性の基本35」の受検者数

平成24年度 482人 ⇒ 平成27年度目標 550人

※「女性の基本35」は、女性の健康支援のために柏市が独自で実施している検診です。対象年齢のかた全員に個別通知しています。

### 乳がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成24年度 24,927人 ⇒ 平成27年度目標 26,000人

### 子宮がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成24年度 21,633人 ⇒ 平成27年度目標 27,000人

## 主な取り組み

- ・エイズ相談やHIV等抗体検査（HIV、クラジミア、梅毒、B型肝炎、C型肝炎）実施、普及習慣や世界エイズデーに併せた啓発（保健予防課）
- ・思春期保健関係者会議、健康教育実施（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・子宮頸がん予防ワクチン公費助成の実施（地域健康づくり課）
- ・家庭婦人スポーツ大会の開催（スポーツ課）

## 今後の取り組み

- ・各種健康診査（乳がん検診、子宮がん検診、女性の基本35）の継続実施、受診促進（成人健診課）
- ・医師会、助産師会、市民団体、PTA等との連携による、公立小・中学校で思春期保健健康教育推進（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・にこにこダイヤルかしわ（妊娠、出産、子育ての悩み相談）（地域健康づくり課）
- ・ノースモッ子教室（学校保健課・地域健康づくり課）